

2006年3月22日
北陸先端科学技術大学院大学
株式会社日立製作所

無線 IP 電話を端末にして人の位置を測定できるシステムを国内で初めて稼働 工場や倉庫などの作業現場において作業効率を上げるための研究を目的に導入

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学(学長:潮田 資勝 / 以下、北陸先端大学)と日立製作所(執行役社長:庄山 悦彦 / 以下、日立)は、このたび、無線 IP 電話を端末に、人の位置を測定できるシステムを国内で初めて稼働します。本システムは、北陸先端大学内の各階の廊下やエレベータホールに設置されたアクセスポイントに携帯電話からの電波を受信する専用ボードを搭載し、携帯電話に対して定期的にパケットを送信して位置を測定することで実現しています。本システムを活用することにより、無線 IP 機能を有する携帯電話を持つだけで大学のキャンパス内における人の所在を確認することができ、学生の出欠確認などが簡単に行えるようになります。

また、北陸先端大学知識科学教育研究センター(センター長:宮田 一乗)の山下 邦弘助教授およびそのグループでは、本システムを用いて、例えば、工場や倉庫などで作業員の位置を確認し、効率の良い指示を出すための研究も行う予定です。

近年、ユビキタス情報社会の進展に伴い、無線 LAN および無線 IP 電話は急速に普及していくと予想されています。そこで日立は北陸先端大学と連携し、無線 LAN を利用して人の位置を測定できるシステムを構築、稼働しました。

今回稼働を開始した本システムは、日立が提供する位置検知システム「日立 AirLocation™」^{*1}の有する無線 LAN を利用して人や物の位置を検知する機能と NTT ドコモが提供する無線 IP 機能とを搭載した携帯電話を連携させて実現しています。北陸先端大学内に構築されたアクセスポイントに携帯電話からの電波を受信する専用ボードを設置しているため、汎用の無線 LAN 標準規格(IEEE802.11b)に準拠した携帯電話であれば、特別なハードウェアやソフトウェアをインストールすることなく人の位置を測定できる端末として利用できます。このため、携帯電話が待受けや通話中の状態に係わらず、携帯電話を持つだけで位置を測定することが可能になります。また、本システムで用いる携帯電話は無線 IP 機能も同時に実現しているため、構内における無線 IP 電話としての機能も果たすことができます。測定された所在の情報はリアルタイムに全体を管理している PC サーバ画面の地図上に表示されることにより、入手された携帯電話の所在情報を利用して、各個人の必要とする情報を各個人が現在居る場所に応じていち早く配信することが可能になります。

本システムでは無線 LAN を利用することを基本としているため、ノート PC などを利用したデータ通信との共用化や LBS(Location Base Service^{*2})による端末への情報配信など、同一の無線 LAN

を使用して複数のアプリケーションが共用できるシステムを構築することも可能になります。例えば、教授や学生が教室の場所により講義に必要なテキストや関連資料を自分の PC に自動的にダウンロードすることができるようになります。今後、大学などの構内における実運用と併せて、多彩なアプリケーション開発を実施していく予定です。

(*1)無線 LAN インフラを活用し比較的簡単、安価な構成で標準 (IEEE802.11) 準拠の無線 LAN 端末を平均 1~3m の高精度で位置検知できるシステム。

(*2)端末位置にリンクした情報を配信するシステム。展示会場の特定ブース前でそのブースに関連した情報を配信する等様々なアプリケーションに利用可能。

照会先

株式会社 日立製作所 ワイヤレスインフォベンチャーカンパニー [担当:池濱、樽見]

〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号

電話 03-4564-4376(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
